

日刊 動労千葉

84.3.27

No.1602

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）九三五六・（公衆）四七二二七一〇七

今秋二期着工粉碎をかかげて開かれた3・25全国総決起集会は、三里塚第一公園を埋めつくす一二、一五〇名が結集し大成功をかちとった。とりわけ、わが動労千葉は六三三名が決起し、見事に「五割動員」実現の快挙をなしとげた。この力をもって動乗勤改悪阻止、八四春闘、反動中曾根内閣打倒の闘いに決起しよう。

大歓声に迎えられ

第一公園に登場

十時四〇分、成田運転区での動労千葉前段集会が始まった。

府舎前を埋めつくす六〇〇余名の組合員は、どの顔も「五割動員」を実現しない自信と歓びにかがやいている。布施書記長から行動提起をうけて直ちにバスに乗り込む。

すさまじい動員数に、成田駅前の私服警官、局課員の顔がひきつり右往左往している。バス五台に分乗し第一公園に到着、労組連に結集する労働者の独自集会に参加し、動労千葉を代表して水野副委員長があいさつする。ついに、動労千葉、国労一千名をこえる国鉄労働者の合流が実現した。

いよいよ第一公園の会場に登場だ。！

二三〇名動員をやりぬいた白ヘルメットの青年部員を先頭に、各支部の親組合員の長蛇の隊列が会場をゆるがす歓声と拍手に迎えられて入場した。

こうして満ぱいになつた第一公園の集会が始まつた。

動労千葉は全労働者の機関車たれ

敷地内の島村良助さん、小川嘉吉さんから、それぞれ開会宣言と主催者代表のあいさつをうけた後、反対同盟を代表して北原事務局長より基調提起が行われた。

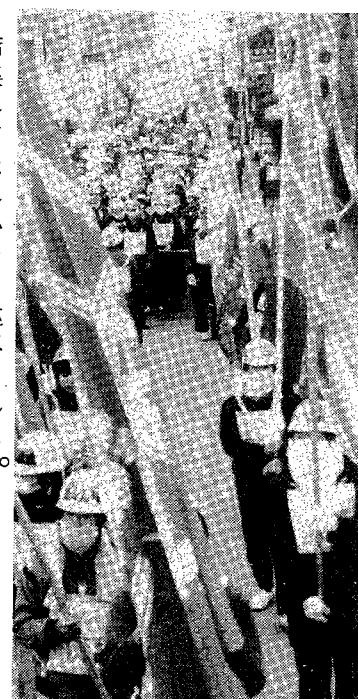
北原事務局長は「三里塚軍事空港は実力で廃港にする以外ない。三・八以降一年間の闘いで誰が正しいのかが鮮明になった。

中曾根の軍大化・改憲を阻止するにはここに結集した人達だ。

今日動労千葉は六〇〇名余りで参加しているが、全労働者の機関車として闘つてほしい。

全人民の敵・革マルを一掃し、

五・一〇に全国から三里塚に



結集してほしい」と述べられた。

さらに、二月芝山町議選で政府、権力、脱落派、革マルのさまざまな敵対をうち破り、見事高位当選をかちとった鈴木幸司さんが、「三里塚に勝利するの一点で今後も闘いぬく」との決意を表明した。

司会の島村不二子さんから、参加人数が一二、一五〇名と発表され会場がわいた。

闘う労働者と農民を信頼して闘い抜く

なりやまぬ拍手を浴びて、動労千葉の中野委員長が登壇しあいさつする。

中野委員長は「動労千葉は勤務者、冠婚葬祭以外のほぼ全員の六三三名で参加している。日本の労働運動の指導者に、やる気になればなんでもできるといふことをいいたい。三里塚と連帯し政治根にたちむかうことはできない。

闘う労働者と農民を信頼し、今後も闘う決意を明らかにする」と決意を表明した。

集会の熱気が一段と高まる中で、全国各地の戦線で闘う仲間から決意表明をうけた。

とりわけ二五〇名で参加した、部落解放同盟荒本支部（大阪）を先頭に三〇余名が発言し、最後に反対同盟の敷地内、各部落代表から「一切の話し合い拒否、実力闘争、の基本路線を堅持し、脱落派をけちらし闘いぬく」との決意表明をうけた。

集会宣言が読みあげられ、いよいよデモに出発。動労千葉を先頭に、国労共闘、全通をはじめとする労働者の大部隊が続く。その力強い足音に戦闘的労働運動の創造にむけた新たな息吹を感じる。四・五キロのデモを貫徹し「3・25五割動員」を闘いぬいた充実感、勝利感をいっぱいにつめこんだバスは、さわやかな笑顔をのせて三里塚をあ



集会場の中央を埋めつくした動労千葉組合員633名

臨調行革粉碎！三里塚ジエット闘争勝利！

五割動員を貫徹した者

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！